新たな長久手のために

# NAOTALK

長久手市議会議員
佐野尚人

議会活動報告

長久手グローバルネット

## ジブリパークは愛知県、ジブリ、中日新聞で運営!

ジブリパークの運営主体が発表され、ジブリパークの概要が少しづつ見えてきました。
この愛知県のビッグプロジェクトに地元自治体として主体性を持って関わっていきたいと思っています。
6 月議会一般質問でジブリパークを長久手市のまちづくりに活用するために以下の提案をしました。

### 提案① オリジナルキャラクターの作成

長久手市のオリジナルキャラクターを作成し、そのデザインをジブリに依頼する。
一般社団法人となった長久手市観光交流協会がそのキャラクターグッズを作成販売する。長久手市の拠点施設でそれぞれ限定販売する。
また、ふるさと納税の返礼品用のグッズも作る。
この売り上げの中から、観光交流協会がキャラクター使用料を長久手市に支払う仕組みを作り、新たな財源としていく。

小金井市キャラクター「こきんちゃん」イラスト
＊スタジオジブリは小金井市にあります。

### 提案② あぐりん村、ござらっせでジブリの世界観を再現する。

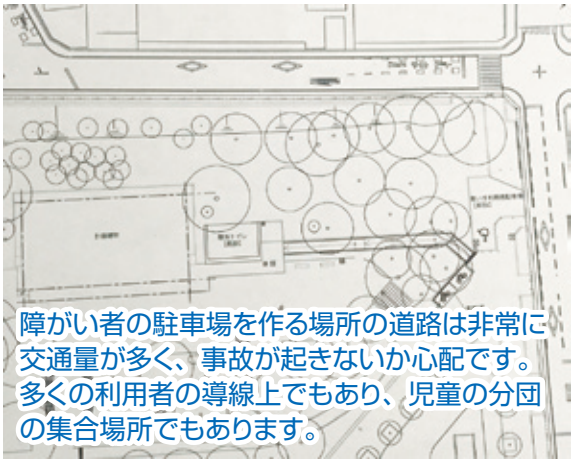
ジブリ作品では食事のシーンも大きな役割を担っています。
あぐりん村ではジブリ作品に出てくる様々な食事のメニューをイメージさせるメニューを提供し、食のイベントも開催する。
また、そのレシピも紹介しあぐりん村で材料も販売する。
ジブリ作品では大きなお風呂屋さんが舞台になっているものもあります。長久手温泉ござらっせではジブリ作品に登場するお風呂のイメージでリラックスできる場所を提供する。
いずれもジブリパークの来場者を誘導しながら、ジブリパークのサテライトイベントとして展開していく。

### 提案③ ジブリパークのおもてなしボランティア

ジブリパークがオープンすれば世界中からジブリファンが長久手市に来られます。
パークや市内施設の案内ボランティアや外国人向けの通訳ボランティアも必要となってきます。
そうしたボランティアを長久手市で組織します。近くには愛知県立大学があり、
外国語学部では 200 人の学生が学んでいます。学生さんにも楽しく学べる場を提供できると思っています。

**そのほか、N バスの猫バス化、宿泊施設の誘致、観光メニューなどの提案をこれまでしてきました。
ジブリパークを長久手市のまちづくりの大きなエンジンにしていきたいと思っています。**

# 杁ヶ池公園に南小学校区の共生ステーションを整備




吉田市長が各小学校区に整備を進める地域共生ステーション。南小校区には適当な市有地がほとんどありませんが、場所を選定するためのワークショップが開かれいくつかの候補地を参加者がまわり、杁ヶ池公園第2駐車場に決定しました。簡易な図面も示され具体的な利用方法を検討していました。しかしながら最終のワークショップで長久手市が唐突に杁ヶ池公園の中に整備するとの方針を示し、現在の場所に決まった経緯があります。地域の住民に十分な周知もされず、進められようとしています。

また、杁ヶ池公園は都市公園に位置づけられており、市内外から多くの利用者が訪れる公園ですが、この利用者に対しても工事を予告する小さな看板があるだけです。多くの方が利用する公園に共生ステーションをこのまま整備しても、地域の方が望むよう利用ができるのでしょうか?

公園利用者や地域の住民の声を十分に聴いてからの整備をしてもらいたいです。

# 杁ヶ池通り自転車通行帯はいかに利用されているか

杁ヶ池通りに市道としては初めての自転車通行帯を整備しました。これまでに長久手市エコシティサイクル構想という自転車の安全な利用を拡充する提案をしています。先進自治体や名古屋市の取り組みを担当課と勉強しながら進めてきており、周辺地域住民や警察の意見もいただきながらこの通行帯の整備が整いました。しかしながら、十分な周知がされていないために円滑な利用が進んでいません。

自転車は左側通行が大前提であり、そこから自転車通行帯の利用も始まっていきます。自転車が車道を走り、自動車のドライバーも道路を自転車と共有しているという認識を深めることによって、お互いが譲り合い、安全で円滑な利用が浸透していくと考えます。

大前提である左側通行を周知するための看板の設置を提案しています。

※写真は平塚市の看板です。平塚市では児童の自転車ヘルメット購入助成も行っていました。

# 日本一の福祉のまちになったのか?

吉田市長は長久手市を日本一の福祉のまちにするとしています。

果たして、この８年間の吉田市政の中で日本一の福祉のまちになったのかを検証しました。

**佐野尚人：吉田市長の就任前と現在とでは社会福祉協議会、愛知たいようの杜や関連事業所の委託費はそれぞれどのようになったか。**

長久手市：委託費としてそれぞれ約 9,880 万円、2,150 万円の増加となっている。

**この委託費は地域の困りごとを探し出すための委託事業に多くを支出しています。結果としてCSWや多機関協働相談支援、地域コーディネーターなど課題を探し出す人ばかりを増やし、解決に導く手段を作っていないことが問題であると感じます。**
**吉田市長は市長に就任するまでは幼稚園や老人ホームを経営してきました。**
**したがって、高齢者福祉は向上していますが、児童福祉、障がい者福祉は拡充されていない感があります。**
**「日本一の福祉のまち」という看板を頼りに長久手市に転入してきた方もいます。**
**そうした方たちの期待に応えるまちになっているのでしょうか?**

# 市民主体のコミュニティになっているか?

吉田市長は小学校区ごとのまちづくりを進めるとして、小学校区にまちづくり協議会を設置し、その運営費をすべて公金で賄うとしています。これまで西小学校区、市が洞小学校区で設置されています。

しかしながら、西小学校区では既存のコミュニティであった自治会連合会が解散し、連合会が自治会から集めていた独自の財源も失われています。この財源から支出されていた消防団への助成など以前のように支出されていない現状です。

市はこうした結果をわかっていながら、まちづくり協議会の設置を急ぐあまりこうした課題を置き去りにしています。

また、市が洞小学校区でも東名高速道路以北の自治会の一部が、防災の連携を強めていきたいとして自治会連合会を脱退しました。

このように、単純に小学校区をエリアとして決められない現状もあります。

屋上屋のようなコミュニティを拙速に進めるあまり、結果として地域のコミュニティが壊れていないか危惧します。

コミュニティを政治的に誘導してしまっては、結果として地域が分断されてしまいます。

時間をかけて、市民のニーズを探りながら醸成していく必要があると感じています。

みなさんの抱える日々の暮らしの中での
**疑問やお願い、困り事**
を聞かせて下さい。

発行者：**佐野 尚人** 〒480-1114 愛知県長久手市長配1丁目707番地の2
nagakute@sano-naoto.com ☎ 0561-61-2085
NAOTALK 最新情報を随時更新中!!
HP www.sano-naoto.com
Twitter @nagakutenaotalk

※この活動報告は、政務活動費の一部を使用しています。